

第1回 北陸における空き家対策に関する情報交換会 開催結果

1. 開催趣旨

北陸地方整備局管内においては、適切に管理されない空き家の増大が各地で指摘され、今冬に注目された豪雪による倒壊危険、景観上の支障、中心市街地活性化の阻害、住環境の悪化等の問題が顕在化している。各地の実情に応じた各々の対応を推進するため、空き家対策に関する情報を共有する情報交換会を開催。

2. 会議内容

- ①空き家の現状と課題の確認（全国・北陸）
- ②国の主な支援制度の説明
- ③管内の取り組み事例の紹介（各自治体による事例発表）
 - <富山・石川ブロック>
 - ・射水市（空家実態調査）
 - ・氷見市（空き家再生等推進事業 [除却]）
 - <新潟ブロック>
 - ・長岡市（空き家バンク）
 - ・見附市（自主条例）
- ④空き家対策に取り組む全国事例の紹介（北陸地整による事例紹介）

【富山・石川ブロック】

<日時・場所>平成24年7月17日(火)14:00～16:30、富山県庁

<参加者> 合計47名：富山県（県4名、市町村13団体24名）
石川県（市町村7団体19名）

- ・ 建築住宅、建設関係 30名
- ・ 企画、危機管理関係 11名
- ・ 市民生活、環境関係 6名

<意見交換>

- ・ 建築基準法と条例の関係、建築基準法に基づく空き家対策に関する具体的運用等、空き家所有者特定のための課税情報の取り扱いなどについて意見交換があった。



【新潟ブロック】

<日時・場所>平成24年7月23日(月)14:00～16:30、まちなかキャンパス長岡

<参加者> 合計45名：新潟県（県3名、市町村17団体42名）

- ・ 建築住宅、建設関係 26名
- ・ 企画、危機管理関係 10名
- ・ 市民生活、環境関係 9名

<意見交換>

- ・ 空き家再生等推進事業の要件、空き家対策に関する条例制定に向けた動き・条例の内容、今冬の豪雪時の空き家所有者への対応の詳細、空き家バンクの具体的運用などについて意見交換があった。

